



留学生は「日本」をどう見たか

—2018年度 岐阜大学日本語・日本文化研修留学生の日本研究発表会—



いま、外国から来た人たちは、とても身近な隣人です。彼らは、日本の社会・文化をどのように見て、どのように感じているのでしょうか。オーストリア・韓国・タイ・中国・ハンガリーから岐阜大学に留学している日本語・日本文化研修留学生の1年間の研究の成果を発表します。

「日本語・日本文化研修留学生」とは

岐阜大学日本語・日本文化教育センターは、毎年10月に日本語・日本文化研修留学生（略称日研生）を迎えます。日研生は翌年8月までの約1年間、日本語と日本文化について学び、その総仕上げとして修了論文を執筆します。論文のトピックは、学生一人ひとりが自分の興味のあるものを選び、教員の指導を受けながら論文を完成させます。岐阜大学の日研生コースは、2001年度に1期生を受け入れ、今回研究発表をする学生たちは17期生となります。彼らの研究成果を、ぜひ皆様にお聞きいただきたいと思いますと考えております。

日時 2018年8月5日（日）13：00～17：00（開場12：30）

会場 岐阜大学サテライトキャンパス（スカイウィング37 東棟4階）

発表学生・発表題目（仮）（姓五十音順） ※発表順ではありません

易 彤（イトウ・中国）：リメイク作品から見る日中ドラマの時代性

—『東京女子図鑑』と『北京女子図鑑』を中心に—

金 娜延（キム ナヨン・韓国）：韓国・大田（テジョン）市における路面電車（トラム）導入の是非

サボ・ダニエル（ハンガリー）：相手との関係によって異なる謝罪表現の使い方

—日本語とハンガリー語の比較を通して—

孫 宇軒（ソン ウケン・中国）：中国ローカルコンビニの現状と展開

—中国ローカルコンビニと中国における日系コンビニとの比較—

タンプラバポーン・パッタラポーン（タイ）：和製英語に対する意識 一年代差と語構成に注目した分析

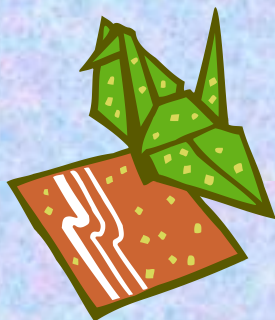
趙 羽熙（チョウ ハキ・中国）：中国人学習者の日本語有声・無声破裂音の習得実態についての考察

—上級者を中心に—

唐 淼（トウ ミョウ・中国）：ジョバンニのアイデンティティの拡散と形成

—成長物語としての『銀河鉄道の夜』についての考察—

ヘル・フィオナ（オーストリア）：日本人の知らない「エリザベート」—ウィーン版ミュージカルと宝塚版の比較—



参加費：無料 定員 80名

申し込み：不要（当日直接会場へお越しください）

駐車場：有料（スカイウィング37）

主催：岐阜大学日本語・日本文化教育センター

問い合わせ先：岐阜大学日本語・日本文化教育センター

（電話：058-293-2138, 3392）

※本発表会の無断での写真・ビデオ撮影はご遠慮ください。